

案件概要書

2019年4月23日

1. 基本情報

- (1) 国名：インドネシア
- (2) 案件名：課題別研修「海図作成技術－航行安全・防災の為に－（国際認定B級）」
- (3) 参加者：インドネシア海軍海洋業務センター職員 2名を含む計6名
- (4) 計画の要約：

水路測量又は海図作成を担う各国政府及び政府関係機関に在籍する技術者を対象とし研修を行うことで、海図作成及び海洋情報の収集・活用能力の強化を図り、同国の海上安全に関する課題への対応能力を向上させるもの。なお、研修修了者は、国際的な基準である水路測量国際B級認定技術者と認定される。

2. 事業の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

インドネシアはASEAN最大の人口と国土を有するASEANの中核国であり、世界最大のイスラム人口を抱え、マラッカ海峡を始め重要な海上交通路の要衝に位置し、同国の安定は我が国を含むアジア全体の安定と繁栄に不可欠である。近年は政治的安定と順調な経済成長を実現し、東南アジア唯一のG20メンバーとして国際場裏での役割を拡大してきており、気候変動対策や民主化支援などアジア地域及び国際社会の課題に対しても積極的に取り組んでいる。また、同国は、民主主義や人権、市場経済といった基本的な価値観を我が国と共有し、かつ幅広い国民レベルでの長い友好関係を有する戦略的パートナーである。

インドネシアに対する援助の重点分野は、①国際競争力の向上に向けた支援、②均衡ある発展を通じた安全で公正な社会の実現に向けた支援、③アジア地域及び国際社会の課題への対応能力向上に向けた支援、と定められており、本研修は③の一環として、インドネシアがアジア地域の抱える海上安全の問題に適切に対応していくための支援として重要といえる。
- (2) 当該国における海上保安対応能力向上の現状・課題及び本計画の位置付け

インドネシアはG20のメンバーとなり、世界政治経済における発言力を拡大させるとともに、国際的・地域的課題、南南協力に対しても積極的な取り組み姿勢を示している。特にASEAN内の政策協調・制度改善や、民主化の経験共有などにおいて主導的な役割を果たすことが期待されている。本件は、インドネシアのみならず、我が国を含む近隣諸国にとっても重要な課題である海上保安に係る能力向上に資するもの。

3. 計画概要

- (1) 計画概要
 - ①計画内容

海図は海上交通の安全を確保し海上貿易を成長させるために重要な社会基盤であるのみならず、津波や油流出等の大規模災害などに係る防災や海洋の環

境保全の施策立案にも不可欠である。しかし、開発途上国においては、人材不足が一因で海図整備が未だ不十分であるため、海図作成及び海洋情報の収集・活用能力の向上を目的として、本研修を実施。

海図作成に必要となる理論的基盤や、海図作成の実務海図データの利活用に関する講義や、港湾での船上実習等を経て、海図作成技術を習得することで、水路測量国際認定B級を取得することができる。

②期待される開発効果

インドネシア海軍海洋業務センターは、海図、水路図誌（潮汐表、天測歴等）を毎年刊行し、これらは世界の海事関係者に広く活用されており、該当職員の本件研修への参加により得た知識・技術は、帰国後、右刊行物作成への従事を通じて航行安全の確保に寄与することが期待される。

- (2) その他特記事項：
特になし。

以 上